



認定書

国住指第3211号
平成 19年 5月 14日

三菱マテリアル建材株式会社
代表取締役社長 山村 洋司 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第八号並びに同法施行令第108条第一号及び第二号(外壁(耐力壁):各30分間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-0859

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

人造鉱物繊維断熱材充てん/けい酸カルシウム板表張/せっこうボード裏張/木製枠組造外壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

人造鉱物繊維断熱材充てん／けい酸カルシウム板表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項目	申請仕様
構造高さ	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	108mm以上
たて枠間隔	500mm以下

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様
たて枠 (荷重支持部材)	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁のたて枠材 寸法：38mm×89mm以上
上枠・下枠	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の上枠・下枠材 寸法：38mm×89mm以上
表張材	材料：けい酸カルシウム板 (JIS A 5430) 厚さ：9.5mm以上
断熱材 (人造鉱物繊維断熱材)	(1)又は(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)グラスウール (JIS A 9504) 厚さ：50mm以上 密度：10kg/m ³ 以上 (2)ロックウール (JIS A 9504) 厚さ：50mm以上 密度：20kg/m ³ 以上
内装材	材料：せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ：9.5mm以上

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

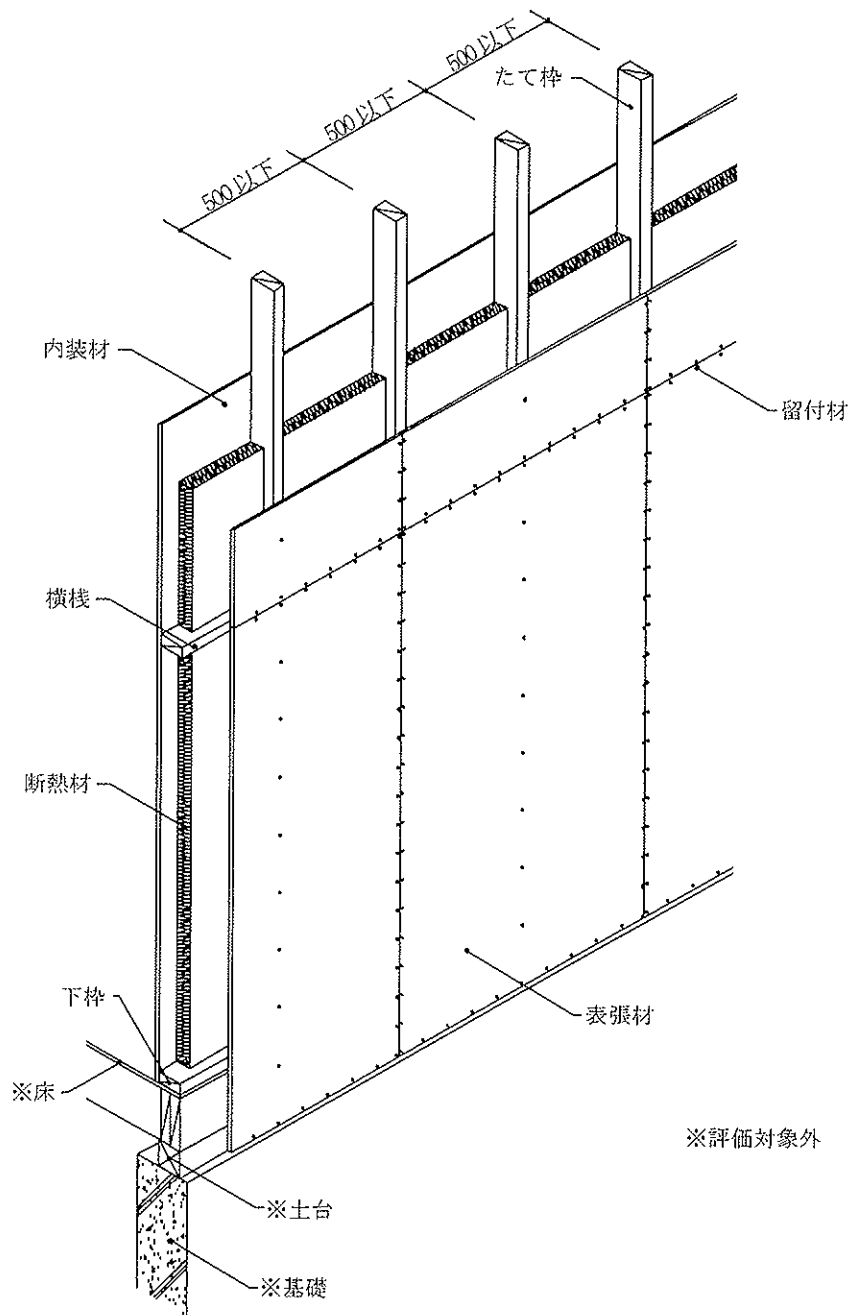
表3 申請仕様の副構成材料

項 目	申 請 仕 様
横棧	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁のたて枠材 寸法：38mm×89mm以上
パテ	材料：せっこうボード用目地処理材（JIS A 6914） 塗布量：100g/m以上
留付材	<p>[1] 表張材固定用</p> <p>材料：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 太め鉄丸くぎ（JIS A 5508） 寸法：CN50以上</p> <p>(2) 十字穴付き木ねじ（JIS B 1112） 寸法：胴径φ3.5mm×40mm以上</p> <p>留付間隔：周辺部100mm以下 中間部200mm以下</p>
	<p>[2] 内装材固定用</p> <p>材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) せっこうボード用くぎ（JIS A 5508） 寸法：GN-40以上</p> <p>(2) 十字穴付き木ねじ（JIS B 1112） 寸法：胴径φ3.5mm×長さ32mm以上</p> <p>(3) タッピンねじ（JIS B 1122） 寸法：胴径φ3.0mm×30mm以上</p> <p>留付間隔：周辺部100mm以下 中間部200mm以下</p>
	<p>[3] 断熱材固定用</p> <p>材料：工業用ステーブル（JIS A 5556） 寸法：内幅9.6mm以上×足長10mm以上</p> <p>留付間隔：500mm以下</p>
	<p>[4] 横棧固定用：</p> <p>材料：鉄丸くぎ（JIS A 5508） 寸法：N65以上</p>

5. 申請仕様の構造説明図

申請仕様の構造説明図を図1～図3に示す。

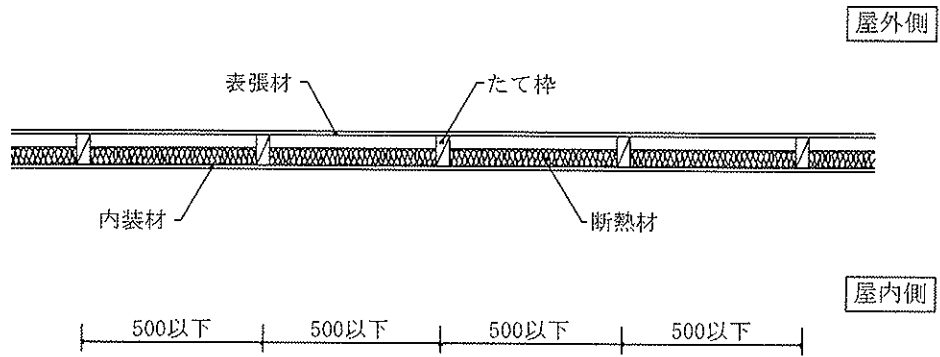
単位 mm



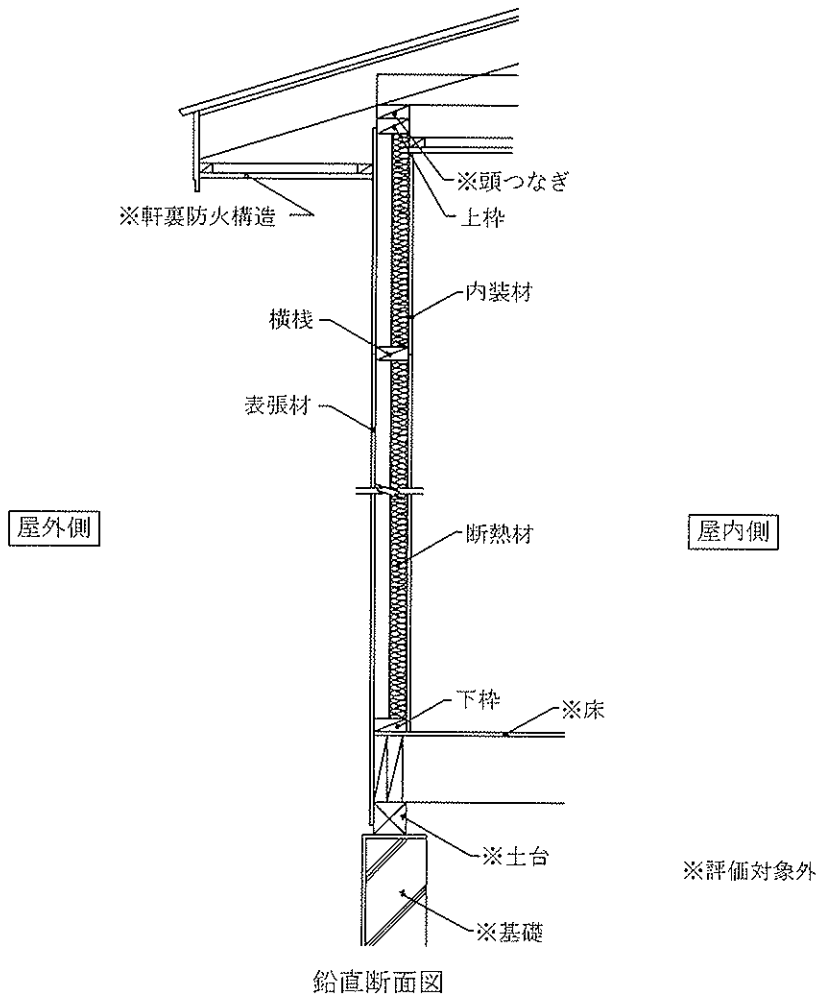
透視図

図1 構造説明図

単位 mm



水平断面図



鉛直断面図

断面図

図2 構造説明図

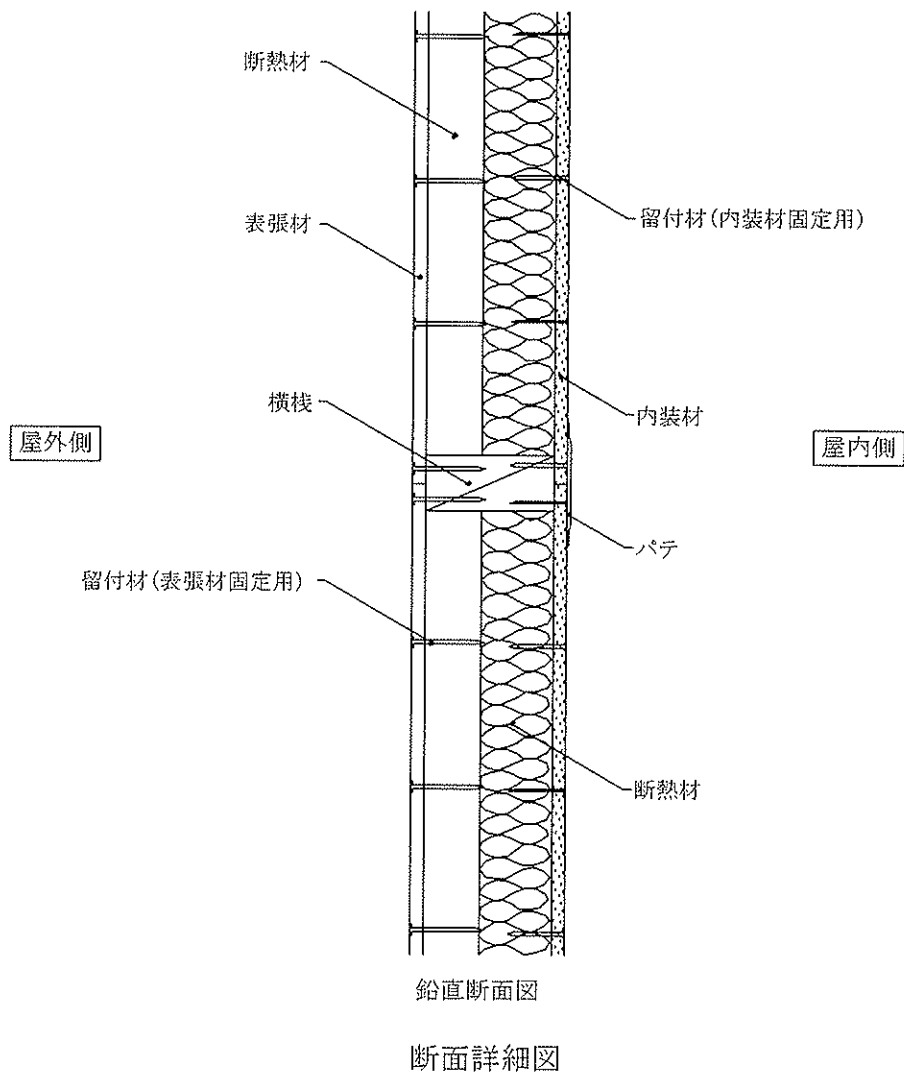
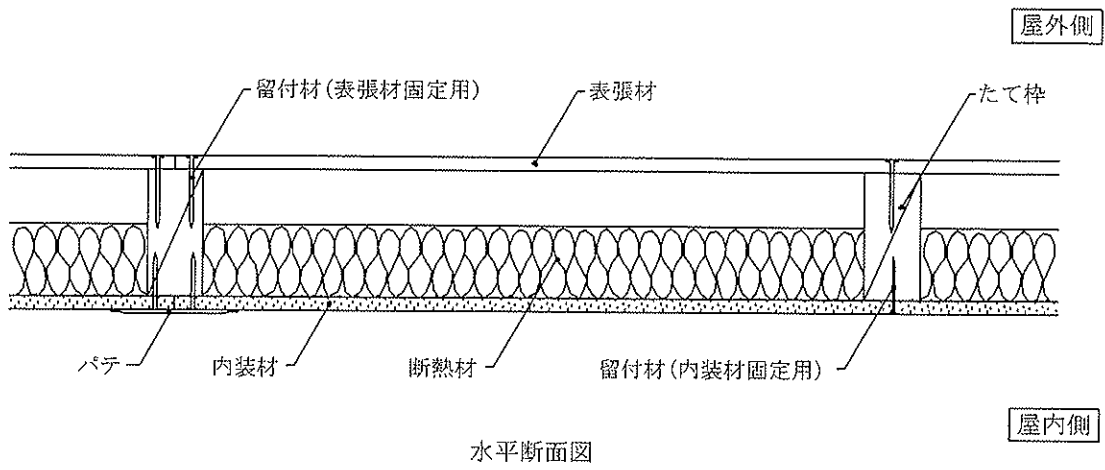


図3 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 下地の組立

- ・たて枠は、反り曲がりのないものを使用し、下枠の見込み面に垂直になるよう、500mm 以下の間隔で取付ける。

(2) 表張材の取付け

- ・表張材は、周囲は100mm以下の間隔でたて枠、桁、土台及び横棧に、中間部は200mm以下でたて枠に太め鉄丸くぎ又は十字穴付き木ねじで留付ける。
- ・目地は突きつけとする。

(3) 断熱材の充填

- ・断熱材は、工業用ステープルを用いて、たて枠に500mm以下の間隔で留付ける。さらに熱抵抗を高めるために、人造鉱物繊維断熱材の代わりに、セルローズファイバー（JIS A 9523）〔厚さ：40mm以上、密度：50kg/m³以上〕を、表張材と壁の屋内側に張った気密シート（ポリエステル長繊維不織布、厚さ：0.2mm以下）の間に吹き込んでもよい。

(4) 内装材の取付け

- ・せっこうボードは、せっこうボード用くぎ、十字穴付き木ねじ又はタッピンねじを用いて留付ける。留付間隔は周辺部150mm以下、中間部200mm以下とする。
- ・目地部にはパテを施し、平滑に仕上げる。